



会からのお知らせ

○定例役員会

日時：H15年5月10日(土)13:30～14:30

場所：ふるさと歴史館視聴覚室

なお、一般会員の方も時間の都合のつく方は気楽にご参加ください。

○第27回雑学講座

日時：5月10日(土)15:00～16:30

場所：ふるさと歴史館視聴覚室

演題：『人間関係を円滑にし、人生を豊にする話力』

講師：石河 信昭氏(学習院大学卒)

メルヘンワークス代表取締役、話力総合研究所講師

○3月度大学関連会合への出席

3月7日(金) 早稲田大学校友会、代議員会、大隈講堂

出席者：小野、田口、當間、三宅

3月30日(日) 東久留米稲門会総会、成美教育文化会館

出席者：大西、三宅

○会員消息



山下 邦康さんが「起業から経営を軌道に乗せるまでの 新米社長学」という本を出されました。ご自分の起業経験を元に解りやすく社長心得を説いたものですが、いわゆる处世術の書としても読め軽妙な短文形式の内容は飽きることなく読み終わられます。
(株)すばる舎刊、1500円です。

・山崎 光夫さん、が早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校が3月15日、17日、18日の3日間、平成15年度の講座紹介のための講演・講座紹介を行った中で15日の初頭に「天下人の養生法に学ぶ」と題した講演を行いました。なお、4月から毎週土曜日13:00～14:30に「現代医学でひもとく江戸養生法」と題して10回の講義をもつ予定です

訃 報

栗島 三郎さん(S29理工 富士見町)のご令室 鈴絵殿(71歳)が3月10日 逝去されました。心からご冥福をお祈り申し上げます。
規定に沿い、弔電および生花一基をお供え申し上げます。

第26回東村山雑学講座 報告

於 スポーツセンター研修室

「東ティモール独立見聞録— 日本は現地で何を望まれているか」

中央政策研究所研究員 当会会員

野田 かず さ氏(H9教育卒)

「野田かずさ 29才 無所属 独身・・・」という始まりで、朝な夕な東村山駅や久米川駅の街頭を行き交う人達に、ハンドマイクで語りかける彼の姿を見かけた方もおられるでしょう。

市政への挑戦を目指す野田さんを駆り立てるもののひとつに、今回の講演の主題である「新興国の独立とその援助に絡む政治・外交の実態」とあるべき形の実現への熱い思いがあるのでしょう。

2001年9月に、独立直前の東ティモールに対するPKO活動としての治安維持道路建設工事に、日本からの自衛隊派遣要請が現地からあったのを機会に、実態を見るために与党三党の国会議員5人と、外務省、防衛庁から各2名、国会職員2名、計11名の視察団の一員として訪問した際の見聞録と、対外援助の実態を目の当たりにしての感想や意見が、はっきりとした口調で30名の聴衆に語られました。

講演は東ティモールの国勢（人口79万人、長野県程度の広さ、産業は小規模のコーヒー栽培が主、石油、ガスは9：1でオーストラリアに権益押さえられている、）や、四半世紀にわたる独立運動の経緯、権力闘争の激しい政治体制等の説明から始まりました。

飛行機の窓から東ティモールの荒れた国土を見て、復興にどれくらいの年月がかかるのか目処がたたないのではと感じた第一印象。

東ティモールと日本の関係の一端として、

- ・日本は2000年から3年間で100億円の援助額。
- ・インフラ整備としての農業指導、人材開発の一環として留学生受け入れ。
- ・特に自衛隊の建設能力の高さが評価されている。（他国が建設した道路は、重車両が通るとすぐに傷むが、自衛隊が作った道路は壊れない）

現地NGOが自衛隊の派遣に反対していると新聞の一面に出たが、日本のNGOが書かせたもので、現地NGOはその記事に反対の宣言をしている。

日本国内の自衛隊アレルギーが国外にまでいびつな形で出ている。

- ・国連安保理理事国入りを画策してのばらまき援助資金とも受け取られかねず、特に新興国からなめられていると感じる幾つかの場面に遭遇。

「外国の援助に、ザルのように金を出すよりももっと国内に意を尽くすべきではないのか、きちっとした哲学を持って、海外援助をしないと、国内でも理解を得られなくなる」ときっぱり言い放った野田 かずさ氏。

「最近街中で野田さんの顔写真が載ったポスターをよく見かけるが・・・、」という会場からの質問にも「今度の機会にチャレンジして、是非自分の思いを市政の舞台で実現させていきたい」と、若武者らしく明快に答えていました。（井垣 記）



同好会だより

同好会活動

聖路加病院院長の日野原重明氏（91歳）の話を聞く機会がありましたので紹介します。日野原氏をご存知の方が多くと思いますが、75歳以上を新老人と称し新老人の会を起しています。そこでのモットーは「今までやらなかった新しいこと、または昔やったが永くやっていないことを始めなさい」と言うもので、それによって若々しく元気で生きてゆけると言うのです。

その為には、東村山稲門会の同好会は絶好の場所です、初心者でも下手くそでも皆さん親切に指導・付き合ってくれます、必要なのはやってみようという思い切りだけです、どうぞ皆さん顔を出してみてください。

大西 記

麻雀同好会

世話人 小野 智 TEL 391-9523
田口 政澄 395-4077



本年第一回麻雀大会は予定どおり去る 3月16日（日）4卓16名で、賞品制から賞金制へ切り替えておこなわれました。

やはり風速が無くなると静かで、なんとなく落ち着かない第一回目の雰囲気でしたが、二回目からはいつもの賑やかなペースで盛り上がりました。最初に大トップで飛び出した土橋雀士が、そのまま逃げ切り 新ルールの初優勝を獲得、準優勝 山下、

3位鈴木（国）4位当間の雀士でした。過去の実績を誇る連中が低迷する中、いつものペースをくずさなかった久世、江藤雀士の5、6位入賞はお見事！一番難しいBB賞は中川雀士が獲得。また3回続けてどん底に突き落とされた三宅雀士が発奮、2度目の役満（過去に字一色完成）四暗刻は賞賛！表彰式の後、優勝者の弁につづき一通り入賞者の声を聞き、最後は役満に敬意を表して無事第一回大会は終了しました。初めて試みた賞金制でのゲームは如何でしたか？雀士の方々には、ゲーム中又はゲームの終了後にさまざまなご意向やお気持ちがあったのではないかと考えております。皆さんで楽しく遊ぶゲームです。忌憚のないご意見を世話人までお寄せください。再検討を重ねてゆきたいと考えております。差し入れの自粛を含めご協力有難うございました。

なお次回は6月22日（日）に決まりました。また皆さん、元気でお会いしましょう！

ヨガ同好会

世話人 大西 幸夫 TEL 395-2817

実施状況

第11回：3月3日（月）は大西、風間、木谷夫妻、高橋文子、三宅夫妻の7名。

第12回：16日（日）は大西、滝川夫妻、三宅夫妻の5名で行いました。

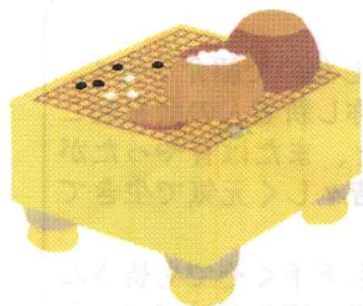
いずれも10：00～11：30東村山市スポーツセンター小会議室です。

4月の予定は4月7日（月）、4月20日（日）

5月の予定は5月6日（火）、5月18日（日）

いずれも10：00～11：30、東村山スポーツセンター小会議室です。

囲碁同好会

世話人 野村保夫
高鷺 近TEL 394-0417
394-2336

4月度 例会のお知らせ

- 1) 4月の例会は、4月26日(土)午後1時～5時、市民センター別館第4会議室で開催されますので、よろしく。
- 2) 恒例の第3回オール早稲田囲碁祭(首都圏)が、今秋9月28日(日)10時～17時、いつもの日本棋院(市ヶ谷)3階で開催されるとの連絡が有りました。詳細はまた後日の連絡待ちです。

2) ここ1・2年「ヒカルの碁」ブームをきっかけとして、子供達の囲碁に対する人気が非常に高まっていますが、日本のプロの世界もようやく新旧交代の流れが強まって、20代半ばのチャンピオンが何人か登場しつつあります。この4月1日からは数十年振りに昇段制度が大改革され、若手の活躍を一層推進することとなりました。世界戦で韓国・中国に差を付けられてきた本家の頑張りを見せてもらいたいものです。

テニス同好会

世話人 当間昭治 TEL 391-6023



3月の例会は北風の強い9日、午後2時から久米川コートで行われましたが、参加者は4名(江藤、小菅、高橋、当間)と少々寂しい状況でした。4月と5月の日程が決まりました。4月は午後1時から4時間、みっちり練習出来ます。

記

日時 4月13日(日) 午後1時～午後5時

5月18日(日) 午前9時～午前11時

4月13日は4番コート、5月18日は3番コートです

場所 市営久米川コート 久米川町2-2

園芸の会

世話人 三宅良太 TEL 394-5298



今年第2回の園芸の会を下記の日程で催します。

日時：4月22日(火) 午前10時三鷹駅南口バス停集合

都立神代植物公園へ桜草の展示会を見に行きます。園内を散策の後、お昼に深大寺そばを賞味懇親会(ワリカン)を行います。小雨決行。第3回は春蒔き草花の苗の交換会です。

日時：5月17日(土) 15時～17時

場所：東村山スポーツセンター2階スポーツクラブ室(予約済み)

可能な方は手作りの苗(出来ればラベルを付けて)をご持参下さい。

カラオケ同好会

世話人 山下 邦 康 TEL 391-2441



第3回のカラオケ同好会は3月1日(土)、午後7時から10:30までの間、「そとはふゆのあめ、まだや〜まぬ」状況をものともせず、「終着駅」で12人がこころゆくまで歌いあげました。

開始時間の前に、月例の懇親会が行われる為に勢いが付いているせいもあり、やや宴会の二次会の様相を呈し、直接会場へ出向いた会員との温度差が出て、しらける場面があることが否めません。「他人の芸が始まったら、お酌の席から戻って、きちんと見るなり聞くなりするのがエチケットだ」と強く営業の先輩から教育された筆者にとっても、やや気になる点です。参加者みんなが楽しく気分良く過ごせるよう、ご協力をお願い致します。

カラオケ同好会は、宴会二次会にしくはありません。

第4回は4月6日(日)の午後5時から、恩多辻の「終着駅」でおこないます。

お花見の後ですが、上述の点をよろしくお願い致します。費用は2時間単位で部屋代2,000円を人数で割った額です。10人なら1人200円です。

第5回は5月10日(土)午後7時からの予定 (井垣 記)

俳句同好会 (稲酔会)

世話人 高 杉 修 391-8447

柴田 元 396-8257

第8回の稲酔会句会を下記の通り行います。当日は市長・市議選の投票日ですので、清き一票を投じた後で、佳句を投じてください。

どなたでも参加出来ます。是非楽しい句会にご参加下さい。

記

日 時	4月27日(日) 午後1時～午後4時
場 所	恩多ふれあいセンター (恩多町5-40-1) (青葉二丁目バス停下車、野火止用水方向へ徒歩3分)
	電話 042-399-1551
投句締切	午後1時20分 兼題含め5句以内
兼 題	「燕」
会 費	無 料 (懇親会あり有料) (柴田 記)

燕(つばめ)、乙鳥(をつどり)、玄鳥(つばめ)、つばくら、つばつくめ、
つばくろ、雨燕(あめつばめ)、飛燕(ひえん)、濡燕(ぬれつばめ)、川燕
(かはつばめ)、里燕(さとつばめ)、群燕(むらつばめ)、諸燕(もろつばめ)
夕燕(ゆうつばめ)、社燕(しゃえん)、燕渡る、燕来る、初燕、
夕燕我には翌(あす)のあてはなき 一茶

気学々習会

世話人 藤 本 継 男 TEL 391-6768

4月の学習会のお知らせ

日 時	: 4月17日(木) 午前10:00～12:00
場 所	: 恩多ふれあいセンター

4月から『易学入門』です。コイン易占法を行いますので6枚の硬貨(どのようなものでも良い)をご用意下さい。

易は中国の四書五経の一つで「易経」の思想をもとにした運命学です。3,000年以上の伝統があります。これから先はどうなるのだろうか、誰でも未知の様子を知りたいものです。易は未来を知る占いです。誰でもどうぞ。

ゴルフ同好会

世話人 井垣和太 TEL 396-3100

○第13回会長杯コンペ4/18(金)に開催

さあ、コンペの日が近づいてきました。前月のご案内に応じて、レディースが2人参加されることになりました。3月末現在で4組15名の参加申し込みですが、あと1人補充してプレーしたいと思います。



(こんなのはゴメン)

昨年春第11回大会

参加予定者は以下の皆さんです。(50音順敬称略)

大野恵子 (S46文)、紅松容子 (S45教育)、
井垣和太 (S37商)、大西幸夫 (S30理工)、
高杉修 (S32教育)、高部素行 (S35理工)、
田島隆夫 (S37法)、津野慶浩 (S37商)、
当間昭治 (S43法)、内藤慎 (S28商)、
中尾栄一 (S32理工)、三宅良太 (S36商)、
森田茂夫 (S34商)、山室勲 (S31理工)、
吉本正典 (S29商)

参加者には、別途実施要領をお届けします。

当会のジンクスはご承知の通り、“雨”が絡むと云うことです。昨年の春は文字通りの土砂降りでした(秋は快晴の西武園)。連続出場の大西さんと井垣さんは「天気男」を以て任じていますので、誰なのか神のみぞ知るところです。当日の好天を祈りましょう。

幹事の高部さん、井垣さんよろしく。

(井垣 記)

俳 壇

八木竜湖

母の試歩始まる便り春近し
薄光のさして色濃きすみれ草
雪柳揺るる白さにかぎりなし

大野恵峰

花照らすライト氷雨に湯気を立て
大根がによつきと残る春の畑
レトロなる温泉ぬくしコザの夜

塩見之一

丹精の若葉伸びやか桜草
遅咲きも芽先ふくらむ桜草
桜草野生の強さ示しおり

菊田一平

いきいきと剥けて梅見のゆで玉子
一橋大学の犬ふぐりかな

柴田行春

水温む今年も咲きし犬ふぐり
木枯しや北斗の柄杓で酒酌みたし

高杉風至

白梅や都心の空の濁らぬ日
子等遊び春の小川となりけり
風の色見えて来にけり柳の芽

井垣稻雀

胸像の眩しき視線卒業す
雛あられ臆面もなき男の掌
ガリバーになり踏み倒す霜柱

投句歓迎・奇数月は二句・偶数月は三句

井垣まで

思い出の地(15)

塩見之一

十五 続・復員

復員日(八月廿三日)の午前八時に兵舎を出て徒歩で熊本駅に向かった。早足でも約百分の距離は長く荷が肩に食い込んだが、生きて東京に帰るんだとの意気込みで歩いた。

駅に近付くにつれ遠くから駅が見通せるようにあたりは焼け落ちていたが、不思議なことに駅から二、三kmのところにある熊本城の安否は現在の記憶にも残っていない。

駅前の街角には憲兵が立ち初めは見送りかと思ったが、九州以东への復員者が関門通過の際の敵の検問を予想して兵装を嫌い、民間人の衣服を無理に調達することを防いでいた。

熊本駅の周辺は焼野原で無人であり私は憲兵と否応無しに対峙する格好となった。

彼等は用件以外は口を利かないと思い黙礼して通り過ぎようとしたが、「何処へお帰りですか。」と声を掛けられた。

「東京へ。」と返事をして気付いたが襟の階級章は准尉の気配りで外されていたから、体格と顔の日焼け具合から下士官と判断して先に挙手の礼をしていた。

熊本駅のホームに上り列車が入ったのは時刻表通りだったが行先は出たとこ勝負で判ら

ないとのことであった。熊本から東京まで幾日かかるか誰にも予測出来なかった。

関門での米軍の検問は米軍進駐以前でフリーであった。彼等は強大な艦隊で日本を包囲しながらすぐには上陸しなかった。

日本兵に対する彼等の評価は、ひとりになっても死を恐れず戦うという彼等の理解を超えた存在であったようだ。

現代の新幹線時代には考えられないことであるが、朝熊本駅で乗車し関門通過が真夜中となる列車の進行は超鈍行であったが、東に進んでいることは確かであった。

広島停車は早朝で乗降客が多かった。進行右側の窓は板張りであったから爆心地側は見えず左の山側の市街地の焼跡がガラス越しに望まれたが、平地は砂漠状の広がりとなり食事の準備の為か或は、死者を焼くための炎か無数の火と煙が山際まで続いていた。

広島発車後、隣に座った中年の奥さんが白米のお握りをすすめてくれた。まわりから無数の手が出てひとつ戴くのがやつとであったが五十七年を過ぎた今でもその味は忘れられない。山陽本線沿線は米と水が良質で酒醸造のメッカと云われており特に酒米は飯米のサイズで五割増し、マスで三倍位の大ききで炊いて米飯として食べれば美味である。

大阪到着は夕刻となり、列車乗換のためにホームに降りた。復員兵の姿は稀となり緊張が緩みつつあったが、金庫を持った兵隊に声を掛けられた。市内まで一緒に運んでくれるとのことであったが盗品臭いので断った。

上り列車をホームで待つ間、跨線橋から落ちる人影を見たが金庫の彼かどうか遠かったので確かめられなかった。

暗くなつてから満員の列車に乗車し、すぐに寝込んでしまった。目覚めたのは横浜の廃墟を通過中の早朝で、横浜から東京までの沿線は立ち木一本残さぬように焼かれていた。

東京駅から牛込まで徒歩で焼跡を辿り、その足で新宿の京王口に向かった。

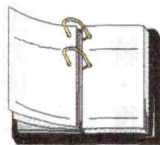
父母の柳町宅は焼けずに残り、伯父は疎開し大震災の時に入手した京王線柴崎の農園に居る筈であったから、伯父に協力して食料自給を図ることを目的に柴崎を訪ねた。

柴崎付近は近くを通る甲州街道を狙った銃・爆撃で若干の被害を被つてはいたが居宅・農園倉庫ともに健在で、家族親戚の食料は何とかなるとの見通しがついた。

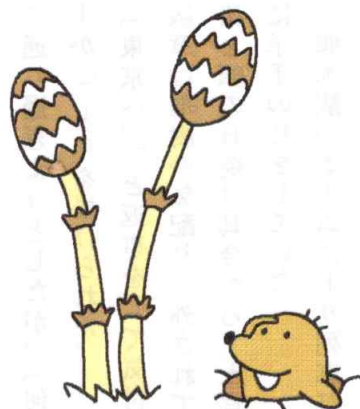
定職を確保するため早稲田に挨拶に向かい、その後のインフレに立ち向かう準備をしたが戦後のインフレの猛威は予想以上のものがあつた。

(この項終わる)

今月の予定



- 5日(土) 役員会
 6日(日) お花見会
 7日(日) カラオケ同好会
 13日(日) テニス同好会
 17日(木) 気学学習会
~~16日(日) 麻雀同好会~~
 18日(金) ゴルフ同好会
 20日(日) ヨガ同好会
 22日(火) 園芸同好会
 26日(土) 囲碁同好会
 27日(日) 俳句同好会



編集局だより

編集局：井垣、伊藤、塩見、田口

東村山稲門会ニュースホームページ：<http://members.jcom.home.ne.jp/toumonkai>

○またまた下宅部の記事で恐縮なのですが、4月22日からのふるさと歴史館での企画展の準備に逐われています。当会からも三宅さん、当摩彰子さんが熱心なボランティアとして参加されています。6月21日までの期間中事前にお申し込みを頂ければ市民学芸員の卵が解説してくれます。どうか奮ってお申し込み頂き彼(女)等に機会を与えてください。

○東村山第1中学ではいよいよ土曜講座の開始が決まりました。私も成り行き上実行委員を引き受けることになりました。求めているのは、教員、父兄、地域の協力です。地域には皆さんも含まれています。小学校の土曜講座とは違ったより専門性の高い、つまり本物の刺激を求めています。近くにキャンパスを持つ早稲田でお手伝いして頂けないでしょうか。繋いでくださる方を求めています。序でに、囲碁同好会の方へ、中学生に囲碁を教えて頂けないでしょうか。「ヒカルの碁」の乗りです。(伊藤)

○次号の原稿締め切りは4月26日(土)とさせていただきます。

○3月の初めには、4月6日(日)の「お花見会」では花は散ってしまっているのではないだろうか、水仙が咲いていればいいか、などと余計な心配をしていたのですが、その後の気候が冷え込み気味だったこともあり、どうやら花吹雪の下での「お花見会」にはなりそうです。良かったですね。

○今年の4月は統一地方選挙があり、街の至る所に立候補予定者の顔写真が入った「政党講演会」ポスターが貼られています。政党ポスターは、何処にでも貼れるかというところではなく、しっかりと「しま」(予定者の地割り)があって、その範囲内でしか貼れないんです。云われてみれば納得せざるを得ないのでしょうか。

○第27回(3月)雑学講座講師 野田かずさ氏のそれは、栄町、富士見町、美住町、恩多町、青葉町、秋津町(一部)で見ることが出来ます。久米川駅周辺の桜見物の序でにでも見つけてください。頼もしい顔であなたに呼び掛けています(井垣)